



Make the world **NAMERAKA**

株主の皆様へ

第125期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

電子提供制度に関するお知らせ

当社は、次回以降の株主総会にかかる株主総会資料につきまして、一部の内容を除き、次回株主総会の基準日までに書面交付請求をされた株主様に限り、書面でお送りすることを決定いたしました。

引き続き書面提供をご希望の株主様は、お手数ですが株主総会基準日までに「書面交付請求」を行っていただきますようお願い申し上げます。

【詳細は別紙をご覧ください。】

NTN 株式会社

証券コード 6472

世界をなめらかにする仕事。



機械のあらゆる回転部位をなめらかにするベアリング技術。
より精密なベアリング技術があれば、軸はよりなめらかに回転し、
エネルギーロスは限りなく少なくなります。
つまりベアリングは、省エネルギーのための技術です。
ベアリングで磨いてきたその技術は、
これからの電気自動車やロボット、自然エネルギー社会までも、
なめらかに変えていきます。

企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて
国際社会に貢献する

- 1 独創的技術の創造
- 2 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- 3 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、
株主への利益還元、社会への貢献
- 4 グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい
経営・企業形態の形成

ごあいさつ



株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の第125期中間報告書をお届けいたします。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 執行役社長
CEO (最高経営責任者)

鷓飼 英一

目次

ごあいさつ	02	セグメント別の概況	07	トピック	13
決算ハイライト	03	事業形態別の概況	09	会社情報・株式情報	14
トップメッセージ	04	連結財務諸表	11		

見直しに関する注意事項

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

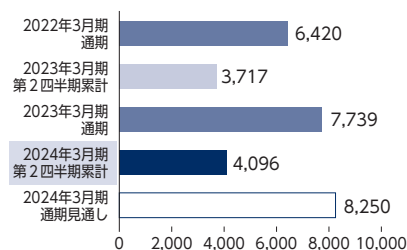
決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における世界経済は、持ち直しは継続しましたが、サプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢やエネルギー情勢、物価上昇等の影響に加え、世界的な金融引き締め等がある中、不透明な状況も続きました。日本経済については、個人消費や設備投資、雇用情勢は持ち直しまは改善の動きがみられ、景気は緩やかに回復しています。海外においては、米国経済は、金融引き締めやインフレ等の影響が懸念されるものの、景気は回復しています。中国経済は、不動産市場の停滞に伴う影響等により、持ち直しの動きに足踏みがみられ、アジアのその他新興国経済は緩やかに回復しています。欧州経済はエネルギー情勢や金融引き締め等の影響で足踏み状態にありました。

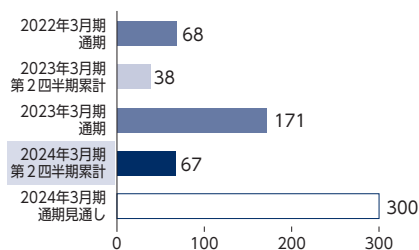
かかる状況下、2021年4月から開始した中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2で掲げた諸施策を着実に実行し、事業構造の変革（Transformation）を加速するとともに、財務体質・組織体制を強化し、経営環境の変化にしなやかに対応できる企業体質の構築を目指します。

当第2四半期連結累計期間の売上高は409,647百万円（前年同期比10.2%増）となりました。損益につきましては、鋼材価格の上昇等はありませんでしたが、売価転嫁等により、営業利益は6,763百万円（前年同期比75.2%増）、経常利益は4,883百万円（前年同期比35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,124百万円（前年同期は1,633百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

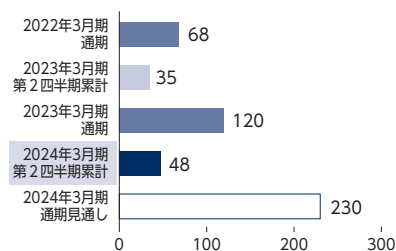
●売上高(億円)



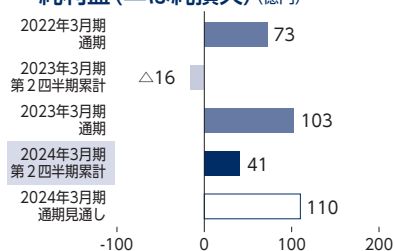
●営業利益(億円)



●経常利益(億円)



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△は純損失)(億円)



🔊 当期の配当について

当期の中間配当金につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案しました結果、1株につき5.00円とさせていただきます。

配当金の推移(円)



決算説明会について

2023年11月2日に開催した2024年3月期第2四半期決算説明会の内容を動画でもご覧いただけます。



トップメッセージ

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念の実践を通じて、世界を取り巻く社会的課題の解決に貢献し、人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる「なめらかな社会」の実現を目指しています。

この「なめらかな社会」の実現に向けた具体的な取組みとして、2020年12月にSDGs対応のために当社グループが優先的に取り組むべき13項目のマテリアリティを特定し、2021年5月に「TCFD提言」に賛同を表明しました。

特定されたマテリアリティについては対応施策を策定し、その進捗状況を定期的に確認しています。また、TCFDの提言に沿ったシナリオ分析の結果を、関連するマテリアリティの指標・目標に結び付け、事業活動に展開するとともに「カーボンニュートラル」と「安心安全、快適性の追求」に繋がる分野への研究開発資源の投入を拡大し、将来の成長に向けた研究開発活動を加速させています。

中期経営計画 「DRIVE NTN100」Phase 2の概要

2021年4月から開始した3年間の中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2では、事業構造の変革(Transformation)を加速するという方針のもと、3年間で財務体質の強化期間と位置づけ、半導体の供給不足や物流費の高騰、急激に進むインフレ、紛争リスクの上昇等、急激かつ大幅な経営環境の変化にしなやかに対応できる企業体質の構築を目指しています。



1. 基本戦略

(1) 事業構造の変革

デジタル技術と当社が培った経営資源を融合させ、事業構造の変革を加速させます。基幹システムの刷新による経営管理の更なる高度化、スマートファクトリ化の推進、また顧客製品の状態監視や故障の事前予知等の新たなビジネスの創出・拡大に取り組めます。

(2) 財務体質の強化

目標とする売上高の8割程度でも利益を出せる財務体質を目指し、比例費低減、固定費抑制等に

トップメッセージ

よる損益分岐点売上高の引き下げに取組んでいます。また、投資効率を追求し、効率化・省人化投資を進めるほか、遊休資産や有価証券の売却、事業統廃合等の選択と集中によりキャッシュ・フローの最大化に取組みます。

取組み状況

自動車事業の再建が喫緊の課題であり、前期より一部未達となっているインフレコストの売価転嫁の徹底、材料価格の上昇に対する調達改革による比例費低減、生産規模増減に応じた着実な固定費コントロールによって、今期の営業黒字化を目指します。また、中長期的視点の利益率改善施策として、米州及び欧州地区の組織再編、生産再編を進めてまいります。

選択と集中を通じた持続的成長に向けた投資と強固な財務体質の構築のため、2023年9月に新株予約権付社債による資金調達を実行しています。

2. 事業別戦略

① 補修事業

OEM・補修共通の販売戦略の下、ターゲット業種を攻略します。常備在庫の拡充、技術サポート・サービス対応の強化、自動車補修部門・機能の再編等の施策を進め、販売拡大に繋がります。また、センサ技術とIoTを活用して軸受の温度・振動・回転速度の情報を無線送信する「しゃべる軸受®」の早期

開発による状態監視ビジネスの確立と補修需要の囲い込み、遠隔支援カメラ等を活用した技術サービスの拡大を通じ、ハードの売り切りからソフト・サービスを加えたビジネスへの変革を目指します。

取組み状況

国内の生産能力を補修市場向け品番の生産に振り当てることで常備在庫の拡充を着実に推進しています。また、前期に続き自社で吸収しきれないエネルギーや材料価格等のコスト上昇分の売価転嫁もお客様に丁寧に説明し進めています。自動車補修部門については販売の中心である欧州市場を軸に、製品ラインナップ拡充をグローバル展開しています。

技術サポート・サービス対応については、コロナ禍で中断していた対面の技術講習会開催や展示会展等を活発に推進中です。「しゃべる軸受®」についてはお客様にサンプル提供を行い、好評を頂いています。また、「NTNポータブル異常検知装置」については本装置を使用した振動分析で国内のお客様の設備安定稼働をサポートする診断レポートビジネスを開始しており、海外市場でも展開するよう準備中です。

② 産業機械事業

既存商品の利益率の向上と新領域の早期確立を図ります。成長業種（風力発電、変減速機、工作機械、鉄道車両等）に経営資源を投入し販売を拡大します。また、利益率を向上すべき業種（建設

機械、農業機械、航空・宇宙等)は、抜本的な原価低減や生産性の向上、不採算ビジネスの売価改善や販売縮小・撤退等の事業の利益率改善を進めます。一方、風力発電向け軸受メンテナンスサービスや、手首関節モジュール商品を活用した省人化提案を進めます。

取組み状況

市場の拡大が見込まれるロボット減速機用軸受の生産能力を増強し販売拡大を図るとともに、鉄道車両では中国鉄道網延伸に伴う需要を取り込んでいます。風力発電はメンテナンス事業を行う株式会社北拓と提携し、軸受供給から異常検知、メンテナンスをワンストップで提供できる体制を構築しました。利益率を向上すべき業種(建設機械、農業機械、航空・宇宙等)では、エネルギーや材料価格等高騰の売価転嫁を図り、抜本的な原価低減や値上・撤退による利益改善を継続し販売ポートフォリオの改善を進めます。

一方で、手首関節モジュール「i-WRIST®」等、ロボット周辺モジュールの提案や、状態監視システム(CMS)・軸受診断アプリケーション等、サービス・ソリューション事業の強化にも取り組んでいます。

3 自動車事業

SUVや電気自動車(EV)等の高い成長性と利益率が期待できるセグメントへの受注シフトを進め

るとともに、比例費低減、ものづくり改革の推進、売価管理の徹底等に取組み、利益率向上を図ります。同時に電動モジュール商品や環境対応商品の販売を拡大し、カーボンニュートラルに貢献します。グローバルで加速する「EV化・電動化」に対し、既存領域のハブベアリングやドライブシャフトでは高効率・低振動・低フリクション等の技術的な優位性を活かした販売機会の獲得を進めるとともに、新領域の電動オイルポンプやeHUB/sHUB、電動ブレーキ等の早期の事業化を目指します。

取組み状況

自動車事業の再建が最重要課題です。エネルギーや材料価格等高騰分の確実な売価転嫁、不採算ビジネスの撤退、事業再編や欧米におけるサプライチェーン再構築を進めており、規模に依存しない事業体質への転換を進めています。

また、欧州市場で初めてCFJ(次世代高効率固定式等速ジョイント)、第3世代円すいころハブベアリングの量産が始まる等、当社グループがターゲットとしているセグメント(BEV、SUV、ピックアップトラック)における成果がグローバルで出始めています。

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念のもと、中期経営計画「DRIVE NTN100」Phase 2における諸施策を実施することにより、企業価値の向上に邁進してまいります。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

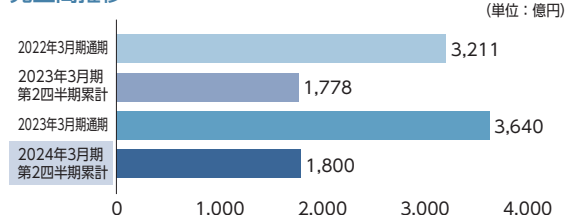
日本

2024年3月期
第2四半期累計

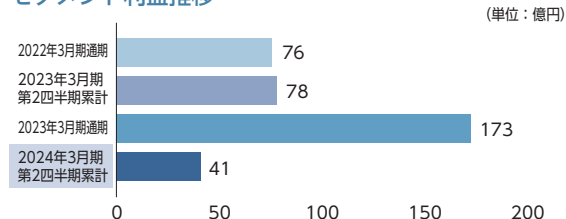
売上高
1,800 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けで減少し、自動車市場向けは客先需要の回復等により増加しました。全体としては、売上高は180,080百万円（前年同期比1.3%増）となりました。セグメント損益は売価転嫁等はありませんでしたが、鋼材価格の上昇等があり、4,182百万円のセグメント利益（前年同期比46.7%減）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



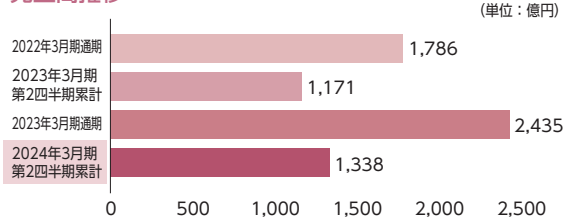
米州

2024年3月期
第2四半期累計

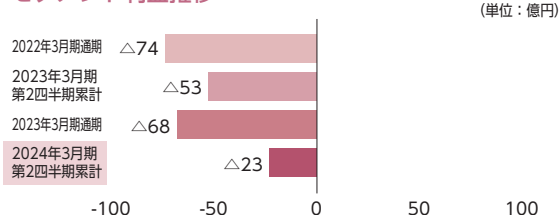
売上高
1,338 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け及び自動車補修向けともに減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けや農業機械向け等で減少し、自動車市場向けは客先需要の回復等により増加しました。全体としては、売上高133,855百万円（前年同期比14.3%増）となりました。セグメント損益は鋼材価格の上昇に伴う売価転嫁の推進等はありませんでしたが、2,381百万円のセグメント損失（前年同期は5,372百万円のセグメント損失）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



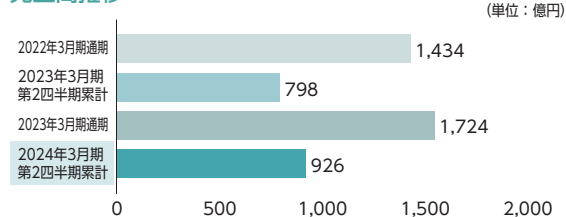
欧州

2024年3月期
第2四半期累計

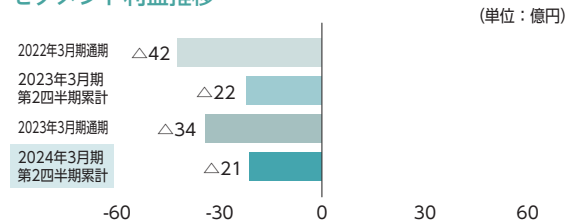
売上高
926 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで減少し、自動車補修向けで増加しました。産業機械市場向けは農業機械向けで減少し、自動車市場向けは客先需要の回復等により増加しました。全体としては、売上高は92,651百万円（前年同期比16.0%増）となりました。セグメント損益は鋼材価格の上昇や固定費の増加に伴う売価転嫁の推進等はありませんでしたが、2,146百万円のセグメント損失（前年同期は2,291百万円のセグメント損失）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



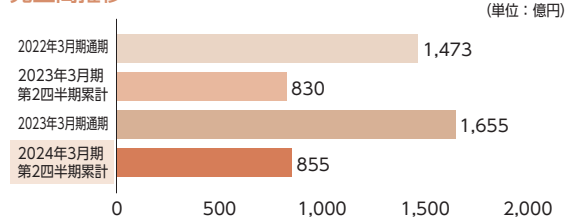
アジア他

2024年3月期
第2四半期累計

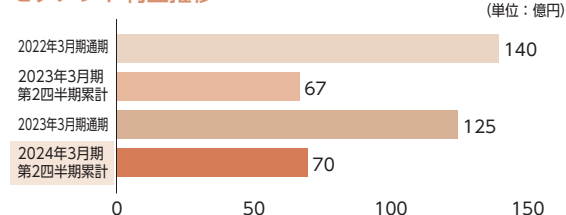
売上高
855 億円

販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで増加しました。産業機械市場向けは風力発電向けや工作機械向け等で減少し、自動車市場向けは前年同期に中国都市封鎖の影響があったことにより増加しました。全体としては、売上高は85,517百万円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント損益は売価転嫁等により、7,040百万円のセグメント利益（前年同期比3.7%増）となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



*上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

事業形態別の概況

補修市場向け

2024年3月期
第四半期累計

売上高 **698** 億円

為替の影響、鋼材価格の上昇等で増収減益

為替の影響等により売上高は69,822百万円（前年同期比6.0%増）となりました。営業損益は売価転嫁等はありませんでしたが、鋼材価格の上昇等により8,879百万円の営業利益（前年同期比10.9%減）となりました。

産業機械、自動車のメンテナンスニーズに対応する様々な商品を提供しています。さらに、軸受の診断・分析や技術講習会等のサービスを通じて商品の提供からアフターサービスまで万全の体制でお客様をサポートします。

オートパーツ



複数のベアリングを組み合わせたパーツキット

食品機械向け



食品機械用ポリループ封入軸受

NTNポータブル異常検知装置



リモート技術支援サービス



産業機械市場向け

2024年3月期
第四半期累計

売上高 **648** 億円

販売規模減少、鋼材価格の上昇等で減収減益

建設機械向けや農業機械向けの減少等により売上高は64,825百万円（前年同期比6.2%減）となりました。営業損益は売価転嫁等はありませんでしたが、鋼材価格の上昇や販売規模の影響等により1,399百万円の営業利益（前年同期比48.0%減）となりました。

各種産業機械に向けて様々な軸受を提供し、産業機械の環境負荷低減を実現しています。また、センシングによる軸受の異常検知や製造現場の自動化・省人化等のニーズに寄与する商品・サービスも提供しています。

建設機械向け



資源採掘や土木建設で活躍

風力発電装置向け



主軸、増速機、発電機等の回転を支える

ロボット向け



i-WRIST®
外観検査の高速・高性能化と省スペース化を実現

自然エネルギー商品



必要な場所に移動可能で自ら発電し電力を供給

客先需要の回復、売価転嫁の推進で営業損失縮小

客先需要の回復等により売上高は274,999百万円（前年同期比16.2%増）となりました。営業損益は鋼材価格の上昇に伴う売価転嫁の推進等にはありましたが、3,515百万円の営業損失（前年同期は8,795百万円の営業損失）となりました。

駆動領域のスペシャリストとして幅広い商品を提供し、省燃費化やCO₂排出量の削減に貢献しています。基盤商品に加え、周辺部品との組み合わせや自社コア技術の融合による高機能なモジュール商品を提供し、安全・安心・快適な未来のクルマづくりに貢献します。

e-Axle
モーター・減速機等

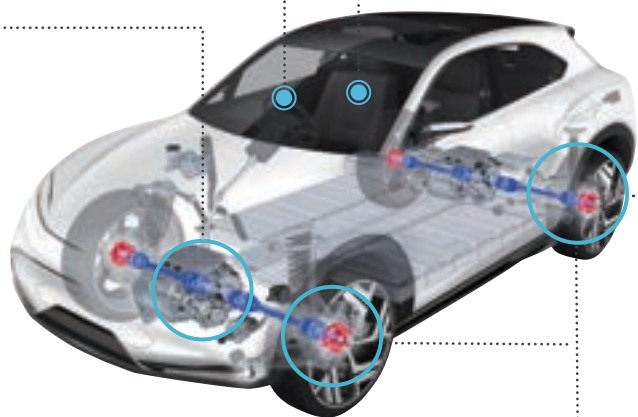
EV・HEV用高速深溝玉軸受



絶縁被膜付き軸受



クリープレス軸受



ステアリング

次世代ステアリング用
メカニカルクラッチユニット

シート

シートリフタ用
クラッチ

ブレーキ

電動油圧ブレーキ用
ボールねじ駆動
モジュール

足回り



ハブベアリング



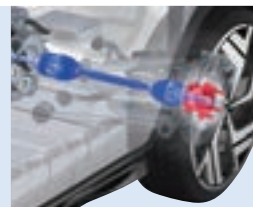
Ra-sHUB



sHUB

高効率固定式
等速ジョイント[CFJ]

ドライブシャフト



*構造を見やすくするため、一部商品はカットした写真を掲載しています。
*事業形態別の代表的な商品例を掲載しています。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2023年9月30日)	前期 (2023年3月31日)	科目	当第2四半期 (2023年9月30日)	前期 (2023年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	569,040	529,024	流動負債	345,877	369,074
現金及び預金	146,297	111,658	支払手形及び買掛金	67,405	67,283
受取手形及び売掛金	119,342	129,760	電子記録債務	71,895	68,340
電子記録債権	8,859	6,902	短期借入金	128,455	161,943
商品及び製品	128,864	116,695	未払法人税等	5,947	4,307
仕掛品	65,622	62,256	役員賞与引当金	58	117
原材料及び貯蔵品	61,617	60,434	その他	72,115	67,083
短期貸付金	28	21	固定負債	312,854	263,327
その他	39,314	42,086	社債	80,000	80,000
貸倒引当金	△906	△790	轉換社債型新株予約権付社債	22,108	—
固定資産	355,198	340,802	長期借入金	157,003	129,349
有形固定資産	273,227	264,113	製品補償引当金	248	251
建物及び構築物(純額)	92,273	88,671	退職給付に係る負債	34,237	34,862
機械装置及び運搬具(純額)	126,825	118,272	その他	19,255	18,863
その他(純額)	54,127	57,169	負債合計	658,731	632,402
無形固定資産	37,756	39,890	(純資産の部)		
投資その他の資産	44,215	36,799	株主資本	193,467	190,626
投資有価証券	26,839	25,434	資本金	54,346	54,346
繰延税金資産	9,261	4,219	資本剰余金	67,970	67,970
退職給付に係る資産	3,758	3,312	利益剰余金	71,984	69,166
その他	5,299	4,049	自己株式	△833	△856
貸倒引当金	△943	△217	その他の包括利益累計額	53,813	30,032
資産合計	924,239	869,827	その他有価証券評価差額金	1,735	1,255
			為替換算調整勘定	51,015	28,079
			退職給付に係る調整累計額	1,062	697
			非支配株主持分	18,226	16,765
			純資産合計	265,508	237,425
			負債純資産合計	924,239	869,827

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期(第2四半期累計)	前期(第2四半期累計)
	[2023年4月1日から 2023年9月30日まで]	[2022年4月1日から 2022年9月30日まで]
売上高	409,647	371,702
売上原価	345,177	313,090
売上総利益	64,469	58,611
販売費及び一般管理費	57,705	54,751
営業利益	6,763	3,860
営業外収益	4,738	4,003
受取利息	734	417
受取配当金	161	201
持分法による投資利益	344	712
為替差益	2,102	1,333
その他	1,393	1,338
営業外費用	6,618	4,270
支払利息	3,999	2,514
その他	2,618	1,756
経常利益	4,883	3,593
特別損失	404	—
事業再編損	404	—
税金等調整前四半期純利益	4,478	3,593
法人税等	△413	4,397
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,891	△804
非支配株主に帰属する四半期純利益	767	829
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,124	△1,633

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期(第2四半期累計)	前期(第2四半期累計)
	[2023年4月1日から 2023年9月30日まで]	[2022年4月1日から 2022年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,333	23,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,156	△9,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,183	△24,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,987	4,136
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	33,349	△7,313
現金及び現金同等物の期首残高	110,675	121,460
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	184	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	144,209	114,147

NTNニュース配信登録のご案内

配信登録いただきますと、ニュースリリース等、当社の情報を電子メールでお届けします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.ntn.co.jp/japan/newsmail.html>



※本配信サービスは、三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部が運営しています。



「NTNレポート2023」を 発行しました。

すべてのステークホルダーのご理解とご支援を賜ることが重要であると考え、経営計画や業績に加えて、サステナビリティ経営への取組み等を日英二カ国語で積極的に開示しています。

ソフトによる付加価値を提供する サービス・ソリューション分野の強化

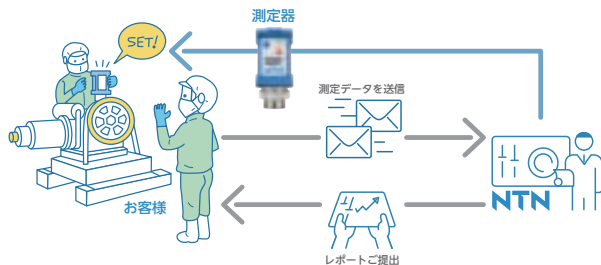
NTNは、ソフトウェアによる状態監視サービスを提供することで「適切なメンテナンスによるハードウェアの長寿命化」を実現させ、メーカーとしてmaintain(維持)を通じたsustain(持続)の実現に貢献してまいります。

近年進めている風力発電装置の軸受や工作機械の回転軸の軸受等に対応した状態監視システムや、センサ技術とIoTを活用して温度・振動・回転速度の情報を無線送信する「しゃべる軸受[®]」等の展開に加えて、本年、「NTNポータブル異常検知装置」を使用した軸受の診断レポートビジネスを開始しました。また、さらに先の展望である「センサで収集した稼働状況に関するビッグデータの活用」に向けて、転がり軸受の高精度な余寿命予測技術を開発する等、サービス・ソリューション分野を新たな利益創出の機会とすべく、取組みの強化を進めています。

「NTNポータブル異常検知装置」を使用した 軸受の診断レポートビジネスを開始

NTNは、軸受の異常を検知する「NTNポータブル異常検知装置」の測定・分析データに基づく診断結果をお客様に報告するレポートビジネスを開始しました。機械保全を行うお客様に診断レポートを提供し、機械保全の信頼性向上と工数削減、安定稼働に貢献します。

診断レポートビジネスの概要



POINT

- 1 「NTNポータブル異常検知装置」の特長を活かして機械保全を効率化
- 2 NTNが持つ専門知識やノウハウを診断レポートに反映してご提供

詳細はウェブサイトをご覧ください。



転がり軸受の高精度な 余寿命予測技術を開発

大阪大学との
産学連携で実現

NTNは、複数のAIを組み合わせ、軸受の余寿命を高精度*に予測する技術を開発しました。軸受の故障の原因となるはく離が発生してから使用限界までの余寿命を高精度に予測することで、機械設備の効率的なメンテナンス計画の立案を可能とし、生産性の向上やコストの削減に貢献します。

*従来の技術と比較して予測精度を約30%向上

現状の軸受交換時の課題

- 軸受が使用可能な状態でも早めに交換
- 現地作業者が長年の経験等に基づき交換時期を判断
- 軸受が破損してから交換

本技術が可能にすること

- 効率的なメンテナンス計画立案
- 機械や設備のダウンタイム短縮

詳細はウェブサイトをご覧ください。



生産性向上・コスト削減

会社情報 (2023年9月30日現在)

■ 当社の概要

社名 NTN株式会社
 商標 **NTN**
 創業 1918年3月
 設立 1934年3月
 資本金 543億円
 従業員 5,674名(連結:22,715名)
 事業内容 軸受、ドライブシャフト、
 精密機器商品等の製造及び販売

■ 取締役

取締役 鵜飼 英一
 取締役 宮澤 秀彰
 取締役 江上 正樹
 取締役 山本 正明
 取締役 木下 俊平
 取締役 尾迫 功

社外取締役 川上 良
 社外取締役 西村 知典
 社外取締役 小松 百合弥
 社外取締役 村越 晃
 社外取締役 木谷 泰夫

■ 執行役

代表執行役 執行役社長 鵜飼 英一*
 代表執行役 執行役 宮澤 秀彰*
 執行役 市川 博幸
 執行役 江上 正樹*
 執行役 小澤 隆信
 執行役 皆見 章行

執行役 川端 恭弘
 執行役 木下 俊平*
 執行役 孝橋 宏二
 執行役 播磨 悦
 執行役 山本 正明*

*取締役を兼務する執行役

株式情報 (2023年9月30日現在)

■ 株主数及び株式数

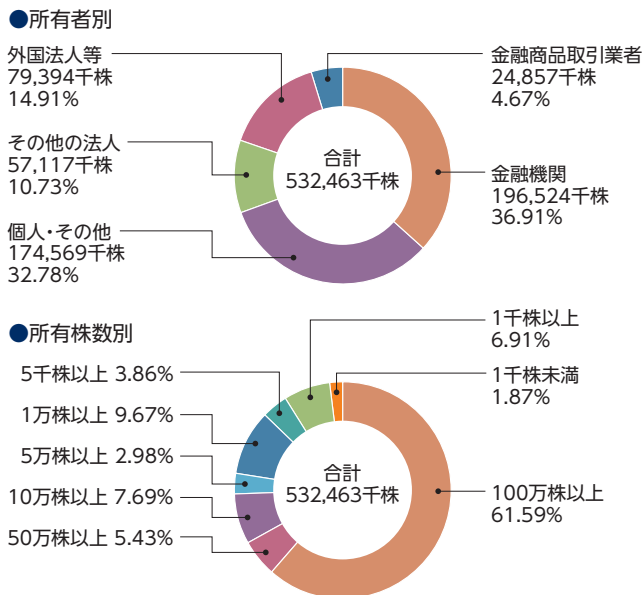
- 株主数..... 73,700名
- 発行済株式数..... 532,463,527株
 (自己株式846,647株を含む)

■ 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率** (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	76,890	14.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	24,332	4.57
明治安田生命保険相互会社	21,344	4.01
NTN共栄会	16,879	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	15,172	2.85
NTN従業員持株会	12,320	2.31
第一生命保険株式会社	11,698	2.20
JPモルガン証券株式会社	9,532	1.79
日本生命保険相互会社	9,206	1.73
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,309	1.56

**持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 株式分布状況





株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
- 剰余金の配当
受領株主確定日 3月31日
- 中間配当
受領株主確定日 9月30日
- 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
(<https://www.ntn.co.jp>)
〒100-8212
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

- 同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話（通話料無料） 0120-094-777

- ご 注 意
 1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。